

平成 20 年度第 4 回
大竹市道徳教育推進連絡協議会

資料 1

平成 21 年度からの 道徳教育の計画

平成 20 年 11 月 11 日（火）

大竹市教育委員会

平成 2 1 年度からの道徳教育の計画

大竹市教育委員会

1 3 種類の計画

新学習指導要領 道徳 第 3 指導計画の作成と内容の取扱い

小学校	中学校
<p>1 各学校においては、校長の方針の下に、<u>道徳教育の推進を主に担当する教師</u>（以下「<u>道徳教育推進教師</u>」という。）を中心に、全教師が協力して道徳教育を展開するため、次に示すところにより、道徳教育の全体計画と道徳の時間の年間指導計画を作成するものとする。</p> <p>(1) 道徳教育の全体計画の作成に当たっては、学校における全教育活動との関連の下に、児童、学校及び地域の実態を考慮して、学校の道徳教育の重点目標を設定するとともに、第 2 に示す道徳の内容との関連を踏まえた各教科、<u>外国語活動</u>、<u>総合的な学習の時間及び特別活動における指導の内容及び時期並びに家庭や地域社会との連携の方法を示す必要があること。</u></p> <p>(2) 道徳の時間の年間指導計画の作成に当たっては、道徳教育の全体計画に基づき、各教科、<u>外国語活動</u>、<u>総合的な学習の時間及び特別活動との関連を考慮しながら</u>、計画的、発展的に授業がなされるよう工夫すること。その際、第 2 に示す各学年段階ごとの内容項目について、児童や学校の実態に応じ、2 学年間を見通した重点的な指導や内容項目間の関連を密にした指導を行うよう工夫すること。<u>ただし、第 2 に示す各学年段階ごとの内容項目は相当する各学年においてすべて取り上げること。</u>なお、特に必要な場合には、他の学年段階の内容項目を加えることができること。</p>	<p>1 各学校においては、校長の方針の下に、<u>道徳教育の推進を主に担当する教師</u>（以下「<u>道徳教育推進教師</u>」という。）を中心に、全教師が協力して道徳教育を展開するため、次に示すところにより、道徳教育の全体計画と道徳の時間の年間指導計画を作成するものとする。</p> <p>(1) 道徳教育の全体計画の作成に当たっては、学校における全教育活動との関連の下に、児童、学校及び地域の実態を考慮して、学校の道徳教育の重点目標を設定するとともに、第 2 に示す道徳の内容との関連を踏まえた各教科、<u>総合的な学習の時間及び特別活動における指導の内容及び時期並びに家庭や地域社会との連携の方法を示す必要があること。</u></p> <p>(2) 道徳の時間の年間指導計画の作成に当たっては、道徳教育の全体計画に基づき、各教科、<u>総合的な学習の時間及び特別活動との関連を考慮しながら</u>、計画的、発展的に授業がなされるよう工夫すること。その際、第 2 に示す各学年段階ごとの内容項目について、生徒や学校の実態に応じ、3 学年間を見通した重点的な指導や内容項目間の関連を密にした指導を行うよう工夫すること。<u>ただし、第 2 に示す各学年段階ごとの内容項目は相当する各学年においてすべて取り上げること。</u></p>

(1) 道徳教育の全体計画

- ・ 学校における道徳教育の基本的な方針を示すとともに、学校の教育活動全体を通して、道徳教育の目標を達成するための方策を総合的に示した計画
- ・ 校長の方針の下に、道徳教育推進教師が中心となって、全教師の参加と協力により、創意と英知を結集して作成されるもの
作成が学習指導要領により義務付け

(2) 道徳の時間の年間指導計画

- ・ 道徳教育の全体計画に基づいて、児童生徒の発達に即して、道徳の時間が計画的・発展的に行われるように組織された全学年にわたる年間の指導計画
- ・ 主題(「ねらい」とそれを達成するための「資料」)を構成し、展開の概要等を示す。
作成が学習指導要領により義務付け

(3) 道徳教育の学級における指導計画

- ・ 道徳教育の全体計画が実行される基盤として、児童生徒や学級の実態、児童・保護者・担任の願いに応じて、指導方針を立てて構想していく学級ごとの指導計画

2 計画の内容

(1) 道徳教育の全体計画

次の事項を含めることが望まれる。(新学習指導要領解説 道徳編)

	小学校	中学校
(1)基本的把握事項	ア 教育関係法規の規定，時代や社会の要請や課題，教育行政の重点施策	ア 教育関係法規の規定，時代や社会の要請や課題，教育行政の重点施策
	イ 学校や地域の実態と課題，教職員や保護者の願い	イ 学校や地域の実態と課題，教職員や保護者の願い
	ウ 児童の実態と課題	ウ 生徒の実態や発達の段階等
(2)具体的計画事項	ア 学校の教育目標，道徳教育の重点目標，各学年の重点目標	ア 学校の教育目標，道徳教育の重点目標，各学年の重点目標 学校の教育目標及び「(1)基本的把握事項」に基づいた各学校の道徳教育の重点目標と各学年の道徳教育の重点目標

	<p>イ 道徳の時間の指導の方針</p> <p>年間指導計画を作成する際の観点や重点目標にかかわる内容の指導の工夫，校長や教頭などの参加，他の教師との協力的な指導等を記述する。</p>	<p>イ 道徳の時間の指導の方針</p> <p>道徳教育の要としての道徳の時間の指導の方針や指導の観点等。特に道徳の時間の年間指導計画を作成する際の観点や重点目標にかかわる内容の指導の工夫，校長や教頭などの参加，他の教師との協力的な指導等</p>
	<p>ウ 各教科，外国語活動，総合的な学習の時間及び特別活動などにおける道徳教育の指導の方針，<u>内容及び時期</u></p> <p>重点的指導との関連や各教科等の指導計画を作成する際の道徳教育的な観点を記述する。<u>また，各教科等の方針に基づいて進める道徳性の育成にかかわる指導の内容及び時期を整理して示す。</u></p>	<p>ウ 各教科，総合的な学習の時間及び特別活動などにおける道徳教育の指導の方針，<u>内容及び時期</u></p> <p>重点的指導との関連や各教科等の指導計画を作成する際の道徳的観点，<u>各教科，総合的な学習の時間及び特別活動などにおける道徳性の育成にかかわる指導内容及び時期等</u></p>
	<p>エ 特色ある教育活動や豊かな体験活動における指導の方針，<u>内容及び時期</u></p> <p>学校や地域の特色を生かした取組や<u>集団宿泊活動，ボランティア活動，自然体験活動</u>などの体験活動や実践活動における<u>道徳性育成の方針を示す。また，その内容及び時期等を整理して示すことも考えられる。</u></p>	<p>エ 特色ある教育活動や豊かな体験活動における指導との<u>関連</u></p> <p>各学校の特色ある教育活動や生徒指導との関連，生徒の内面に根ざした道徳性の育成にかかわる豊かな体験活動との<u>関連等</u></p>
	<p>オ 学級，学校の人間関係，環境の整備や生活全般における指導の方針</p> <p>日常的な学級経営を充実させるための具体的な計画等を記述する。</p>	<p>オ 学級，学校の環境の充実・整備や生活全般における指導の方針</p> <p>日常的な学級経営を充実させるための具体的な計画等</p>
	<p>カ 家庭，地域社会，他の学校や関係機関との連携の方法</p> <p>協力的体制づくりや<u>道徳の時間の授業の公開</u>，広報活動，保護者や地域の人々の参加や協力の内容及び時期，具体的な計画等を記述する。</p>	<p>カ 生徒との信頼関係をはぐくむ教師の在り方や教師間の連携方法</p>

<p>キ 道徳教育の推進体制 <u>道徳教育推進教師の位置付けも含めた学校の全教師による推進体制を示す。</u></p>	<p>キ 家庭，地域社会，関係機関，小学校・高等学校・特別支援学校等との連携の方針 <u>道徳教育講演会や道徳の時間の公開授業の実施，地域教材の開発や活用，広報活動や授業等に保護者や地域の人々の積極的な参加や協力を得る具体的な計画や方策，小学校・高等学校・特別支援学校との連携方針等</u></p>
<p>ク その他 <u>例えば，次年度の計画に生かすための評価の記入欄をつくったり，研修計画や重点的指導に関する添付資料等を記述したりする。</u></p>	<p>ク 道徳教育の推進体制 <u>道徳教育推進教師の位置付けも含めた学校の全教師による推進体制等</u></p>
	<p>ケ その他 <u>評価計画，研修計画，重点的指導に関する添付資料等</u></p>

<p>なお、全体計画を一覧表にして示す場合は、必要な各事項について文章化したり、具体化したりしたものを加えるなどの工夫が望まれる。</p> <p>例えば、各教科等における<u>道徳教育にかかわる指導の内容及び時期を整理したもの、道徳教育にかかわる体験活動や実践活動の時期等が一覧できるもの、道徳教育の推進体制や家庭や地域社会等との連携のための活動等が分かるものを別葉にして加えるなどして、年間を通して具体的に活用しやすいもの</u>とすることが考えられる。</p> <p>また、このようにして作成した全体計画は、<u>家庭や地域社会の人々の積極的な理解と協力を得るとともに、様々な意見を聞き一層の改善に役立てるために、他の教育計画と同様、その趣旨や概要等を学校通信に掲載したり、ホームページで紹介したりするなど、積極的に公開していくことが求められる。</u></p>	<p>なお、全体計画を一覧表にして示す場合は、必要な各事項について文章化したり、具体化したりしたものを加えるなどの工夫が望まれる。</p> <p>例えば、各教科等における<u>道徳教育にかかわる指導の内容及び時期を整理したもの、道徳教育にかかわる体験活動や実践活動の時期等が一覧できるもの、道徳教育の推進体制や家庭や地域社会等との連携のための活動等が分かるものを別葉にして加えるなどして、年間を通して具体的に活用しやすいもの</u>とすることが考えられる。</p> <p>また、このようにして作成した全体計画は、<u>家庭や地域社会の人々の積極的な理解と協力を得るとともに、様々な意見を聞き一層の改善に役立てるために、他の教育計画と同様、その趣旨や概要等を学校通信に掲載したり、ホームページで紹介したりするなど、積極的に公開していくことが求められる。</u></p>
---	---

「重点的指導」について（新学習指導要領解説 道徳編）

「重点的指導」：各学年で重点化されている内容項目の指導において、学校で更に重点的に指導したい内容項目をその中から選び、多様な指導を工夫することによって、内容項目全体の指導を一層効果的に行うこと

ア 学校の教育活動全体における指導

学校全体の重点目標の決定及びそれを具体的に指導するための方針の明確化・各学年の重点目標の設定

イ 道徳の時間における指導

2学年間（小）、3学年間（中）を見通した重点的指導を工夫する。

【重点的に指導する内容項目の扱い】

指導時間数を増やし、一定の期間をおいて繰り返し取り上げる。

一つの内容項目を何回かに分けて指導する。

ねらいや資料の質的な深まりを図る。

指導の方法を多様にする。

指導内容の重点化（新学習指導要領 道徳）

小学校		中学校
各学年を通じて	自立心や自律性、自他の生命を尊重する心を育てることに配慮	自他の生命を尊重し、規律ある生活ができ、自分の将来を考え、法やきまりの意義の理解を深め、主体的に社会の形成に参画し、国際社会に生きる日本人としての自覚を身に付けられるようにすることなどに配慮
低学年	あいさつなどの基本的な生活習慣、社会生活上のきまり、善悪を判断し、人間としてはならないことをしないこと	悩みや葛藤等の思春期の心の揺れ、人間関係の理解等の課題を積極的に取り上げ、道徳的価値に基づいた人間としての生き方について考えを深められるよう配慮すること。
中学年	集団や社会のきまり、身近な人々と協力し助け合う	
高学年	法やきまりの意義、相手の立場を理解し、支え合う態度、集団における役割と責任、国家・社会の一員としての自覚 悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題を積極的に取り上げ、自己の生き方についての考えを一層深められるよう指導を工夫すること。	

（２）道徳の時間の年間指導計画

特に次の内容を明記しておくことが望まれる。（新学習指導要領解説 道徳編）

	小学校	中学校
(1)各学年の基本方針	全体計画に基づき、道徳の時間における指導について、学年ごとの基本方針を具体的に示す。	全体計画に基づいた、道徳の時間における各学年ごとの基本方針
(2)各学年の年間にわたる指導の概要	ア 指導の時期 <u>学年又は学級ごとの実施予定の時期を記載する。</u>	ア 指導の時期 <u>学年又は学級ごとの実施予定の時期を記載する。</u>
	イ 主題名 <u>ねらいと資料で構成した主題を端的に表したものを記述する。</u>	イ 主題名 <u>ねらいと資料で構成した主題を端的に表したものを記述する。</u>
	ウ ねらい <u>ねらいとする道徳性の内容や観点を端的に表したものを記述する。</u>	ウ ねらい <u>ねらいとする生徒に身に付けさせたい道徳性の内容や観点を端的に表したものを記述する。</u>

<p>工 資料</p> <p><u>指導で用いる中心的な資料の題名を記述する。なお、その出典等を併記することが望ましい。</u></p>	<p>工 資料</p> <p><u>指導で用いる中心的な資料の題名と出典、補助資料や予備資料等を記述する。</u></p>
<p>オ 主題構成の理由</p> <p>ねらいに対して資料を選定した理由を簡潔に示す。</p>	<p>オ 主題構成の理由</p> <p>ねらいに対してこの資料を選定した理由を簡略に示す。</p>
<p>カ 展開の概要及び指導の方法</p> <p><u>ねらいを踏まえて、資料をどのように活用し、どのような手順で学習を進めるのかについて簡潔に示す。</u></p>	<p>カ 展開の概要及び指導の方法</p> <p>資料をどう活用し、どのような手順や方法で学習を進めてねらいにせまるか、<u>その概略等を簡潔に示す。</u></p>
<p>キ 他の教育活動等における道徳教育との関連</p> <p>特に関連する教育活動や体験活動、学級経営の取組などを示す。</p>	<p>キ 他の教育活動等における道徳教育との関連</p> <p>関連する教育活動や体験活動、学級経営の取組などを示す。</p>
<p>ク その他</p> <p>例えば、校長や教頭などの参加、他の教師の協力的な指導の計画、保護者や地域の人々の参加・協力の計画、複数の時間取り上げる内容項目の場合は各時間の相互の指導の関連などの構想を示すことが考えられる。</p>	<p>ク その他</p> <p>例えば、校長や教頭などの参加及び教師の協力的な指導の計画、保護者や地域の人々の参加・協力の計画、複数の時間取り上げる内容項目の場合は、その全体の構想等を示すことが考えられる。</p>
<p><u>なお、道徳の時間の指導の時期、主題名、ねらい及び資料を一覧にした配列表のみでは年間指導計画としては機能しにくい。そのような一覧表を示す場合においても、展開の概要等を含むものなど、各時間の指導の概要が分かるようなものを加えることが求められる。</u></p>	<p><u>なお、道徳の時間の指導の時期、主題名、ねらい及び資料を一覧にした主題配列の一覧表のみでは年間指導計画としては機能しにくい。そのような一覧表を示す場合においても、展開の概要等を含むものなど、各時間の指導の概要が分かるようなものを加えることが求められる。</u></p>

年間指導計画作成上の創意工夫と留意点（新学習指導要領解説 道徳編）
（ 9 ） 年間指導計画の評価と改善を計画的に行うようにする

小学校	中学校
<p>年間指導計画が一層効果的に実行されるためには、実施の反省に基づき、上記により生じた検討課題を踏まえながら、全教師の共通理解の下に、年間指導計画の評価と改善を行うことが</p>	<p>年間指導計画が一層効果的に実行されるためには、実施の反省に基づき、道徳教育推進教師を中心に全教師の共通理解の下に、年間指導計画の評価と改善を行うことが必要で</p>

必要である。そのためには、日常から実施上の課題を記入したり、検討するための資料を収集したりすることにも心掛けることが大切である。	ある。道徳教育推進教師はそのための研修体制の確立や資料の収集・紹介・整備・開発に心掛ける必要がある。
--	--

(3) 学級における指導計画

次のような事項を明確にしておくことが望まれる。(新学習指導要領解説 道徳編)

	小学校	中学校
(1) 基本的把握事項	ア 学級における児童の道徳性の実態	ア 学級における生徒の道徳性の実態
	イ 学級における児童の願い，保護者の願い，教師の願い	イ 学級における生徒の願いや保護者の願い，教師の願い
	ウ 学級における道徳教育の基本方針	ウ 学級における道徳教育の基本方針
(2) 具体的計画事項	ア 教師と児童の信頼関係及び児童相互の望ましい人間関係を築く方策	ア 各教科，総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育の概要
	イ 各教科，外国語活動，総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育の概要	イ 生徒指導にかかわる道徳教育の視点
	ウ 学級生活における豊かな体験活動の概要	ウ 学級生活における豊かな体験活動の計画
	エ 学級における道徳教育に関する環境の整備の方針	エ 学級における教育環境の整備計画
	オ 基本的な生活習慣に関する指導の方針	オ 基本的な生活習慣に関する指導計画
	カ 他の学級・学年との連携にかかわる内容と方法	カ 他の学級・学年との連携にかかわる内容と方法
	キ 家庭・地域社会等との連携及び授業公開等にかかわる内容と方法	キ 家庭や地域社会との連携，授業等への参加や協力及び授業公開にかかわる内容と方法
	ク その他（例えば重点的な指導に関する具体的計画など）	ク その他（評価計画等）

	<p>このような計画を表現する形式としては、これらの事項を一覧にしたり、文章化したり、表を添付したりする方法などが考えられる。</p> <p>また、学級経営案における道徳教育の記述との関連を図り、その部分を充実して表現するような方法も考えられる。</p>	
--	---	--

3 その他計画作成に当たり留意する事項（新学習指導要領解説 道徳編）

第5章 道徳の時間の指導

第1節 指導の基本方針

第2節 学習指導案の内容とその作成

- 1 学習指導案の内容
- 2 学習指導案作成の主な手順
- 3 学習指導案作成上の創意工夫

第3節 学習指導の多様な展開

- 1 道徳の時間の特質を生かした指導
- 2 多様な学習指導の構想
- 3 道徳の時間に生かす指導方法の工夫

第4節 道徳の時間の指導における配慮とその充実

- 1 道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実
- 2 体験活動を生かすなどの指導の充実
- 3 魅力的な教材の開発や活用
- 4 言葉を生かし考えを深める工夫
- 5 情報モラルの問題に留意した指導

第6章 教育活動全体を通じて行う指導

第1節 指導の基本方針

第2節 各教科，外国語活動（小学校），総合的な学習の時間及び特別活動における指導

- 1 各教科及び外国語活動（小学校）における指導
- 2 総合的な学習の時間における指導
- 3 特別活動における指導

第3節 その他の教育活動における指導

- 1 日常的な生活の場面における指導
- 2 人間関係の充実
- 3 教室や校舎・校庭等の環境の整備

第7章 家庭や地域社会との連携

- 第1節 家庭や地域社会における道德教育とその役割
 - 1 家庭における道德教育
 - 2 地域社会における道德教育
- 第2節 家庭や地域社会との連携による道德教育
 - 1 家庭や地域社会との協力体制
 - 2 多様な連携の創意工夫
- 第8章 児童理解に基づく道德教育の評価
 - 第1節 道德教育における評価の意義
 - 第2節 道德性の理解と評価
 - 1 評価の基本的態度
 - 2 評価の観点と方法
 - 3 評価の創意工夫と留意点

平成21年度からの道徳の内容項目とその系統

小学校第1学年及び第2学年	小学校第3学年及び第4学年	小学校第5学年及び第6学年	中学校
1 主として自分自身に関すること			
<p>(1) 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わかまますをしないで、規則正しい生活をする。</p> <p>(2) 自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。</p> <p>(3) よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。</p> <p>(4) うそをついたりごまかしたりしないで、素直に伸び伸びと生活する。</p>	<p>(1) 自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度のある生活をする。</p> <p>(2) 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。</p> <p>(3) 正しいと判断したことは、勇気をもって行う。</p> <p>(4) 過ちは素直に改め、正直に明るい心で元気に生活する。</p> <p>(5) 自分の特徴に気付き、よい所を伸ばす。</p>	<p>(1) 生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛ける。</p> <p>(2) より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。</p> <p>(3) 自由を大切にし、自律的で責任のある行動をする。</p> <p>(4) 誠実に明るく心で楽しく生活する。</p> <p>(5) 真理を大切にし、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくする。</p> <p>(6) 自分の特徴を知って、悪いところを改めよい所を積極的に伸ばす。</p>	<p>(1) 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。</p> <p>(2) より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。</p> <p>(3) 自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。</p> <p>(4) 真理を愛し、真実を求め、理想の実現を目指して自己の人生を切り拓いていく。</p> <p>(5) 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。</p>
2 主として他の人とのかかわりに関すること			
<p>(1) 気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する。</p> <p>(2) 幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。</p> <p>(3) 友達と仲よくし、助け合う。</p> <p>(4) 日ごろ世話になっている人々に感謝する。</p>	<p>(1) 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。</p> <p>(2) 相手のことを思いやり、進んで親切にする。</p> <p>(3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。</p> <p>(4) 生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。</p>	<p>(1) 時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。</p> <p>(2) だれに対しても思いやりの心もち、相手の立場に立って親切にする。</p> <p>(3) 互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合う。</p> <p>(4) 謙虚な心もち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にす。</p> <p>(5) 日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる。</p>	<p>(1) 礼儀の意義を理解し、時と場に合った適切な言動をとる。</p> <p>(2) 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。</p> <p>(3) 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。</p> <p>(4) 男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。</p> <p>(5) それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解して、寛容の心もち謙虚に他に学ぶ。</p> <p>(6) 多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえる。</p>
3 主として自然や崇高なもののかかわりに関すること			
<p>(1) 生きることを喜び、生命を大切にする心をもつ。</p> <p>(2) 身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。</p> <p>(3) 美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ。</p>	<p>(1) 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にす。</p> <p>(2) 自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にす。</p> <p>(3) 美しいものや気高いものに感動する心をもつ。</p>	<p>(1) 生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。</p> <p>(2) 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にす。</p> <p>(3) 美しいものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ。</p>	<p>(1) 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。</p> <p>(2) 自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心もち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。</p> <p>(3) 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きること喜びを見いだすように努める。</p>
4 主として集団や社会とかかわりに関すること			
<p>(1) 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にす。</p> <p>(2) 働くことよさを感じて、みんなのために働く。</p> <p>(3) 父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つ喜びを知る。</p> <p>(4) 先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくす。</p> <p>(5) 郷土の文化や生活に親しみ、愛情をもつ。</p>	<p>(1) 約束や社会のきまりを守り、公徳心をもつ。</p> <p>(2) 働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。</p> <p>(3) 父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合っ楽しい家庭をつくる。</p> <p>(4) 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合っ楽しい学級をつくる。</p> <p>(5) 郷土の伝統と文化を大切にす、郷土を愛する心をもつ。</p> <p>(6) 我が国の伝統と文化に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心をもつ。</p>	<p>(1) 公徳心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にす、進んで義務を果たす。</p> <p>(2) だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正、公平にし、正義の実現に努める。</p> <p>(3) 身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。</p> <p>(4) 働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つこととする。</p> <p>(5) 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つこととする。</p> <p>(6) 先生や学校の人々への敬愛を深め、みんなで協力し合いよりよい校風をつくる。</p> <p>(7) 郷土や我が国の伝統と文化を大切にす、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。</p> <p>(8) 外国の人々や文化を大切にす、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努める。</p>	<p>(1) 法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。</p> <p>(2) 公徳心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。</p> <p>(3) 正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。</p> <p>(4) 自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。</p> <p>(5) 勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。</p> <p>(6) 父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。</p> <p>(7) 学級や学校の一員としての自覚をもち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してよりよい校風を樹立する。</p> <p>(8) 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。</p> <p>(9) 日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。</p> <p>(10) 世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する。</p>

平成 20 年度第 4 回
大竹市道徳教育推進連絡協議会

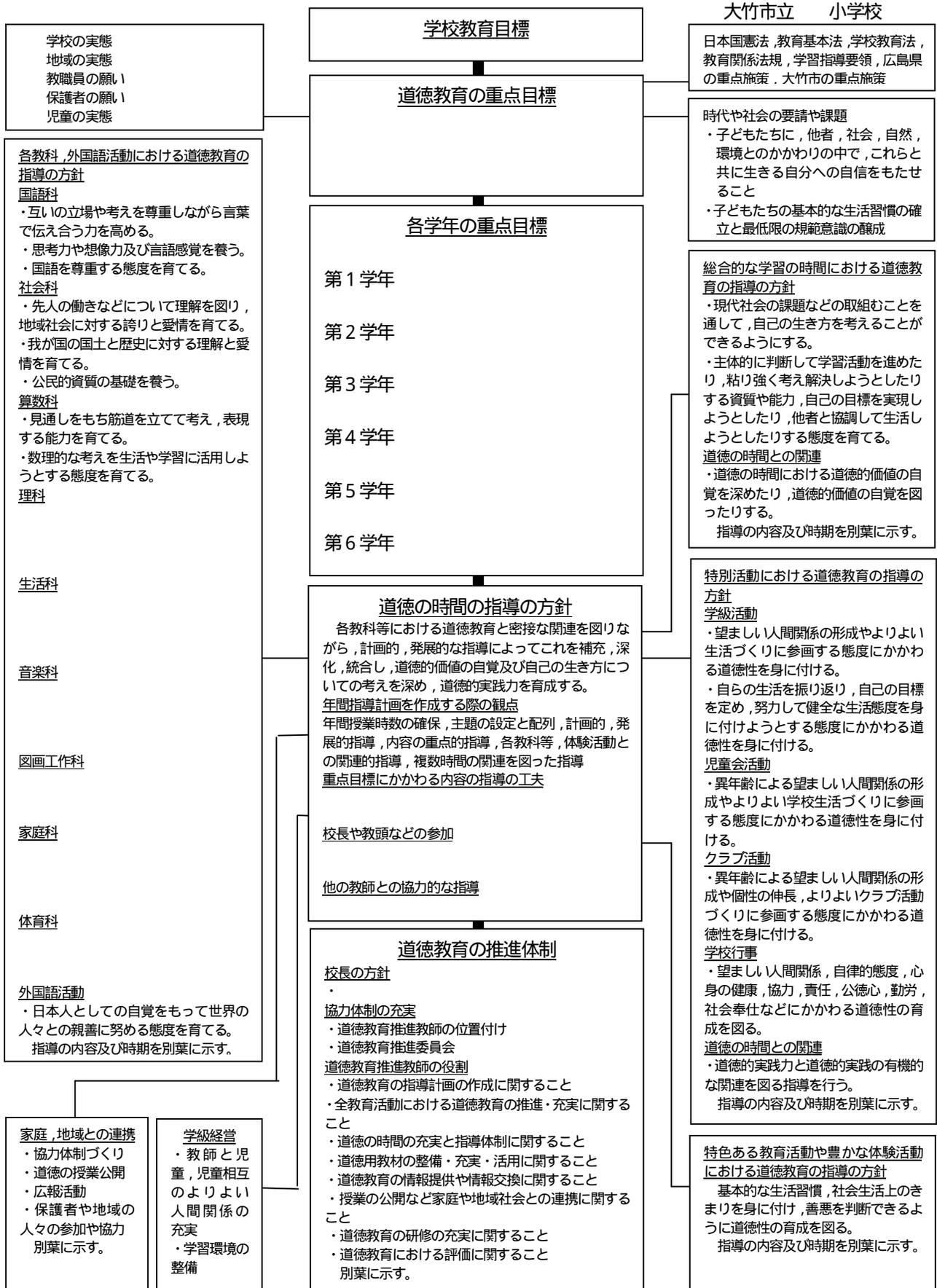
資料 2

平成 21 年度
道徳教育の全体計画（例）

平成 21 年度
道徳の時間の年間指導計画（例）

平成 20 年 11 月 11 日（火）
大竹市教育委員会

平成21年度 道徳教育の全体計画(例)

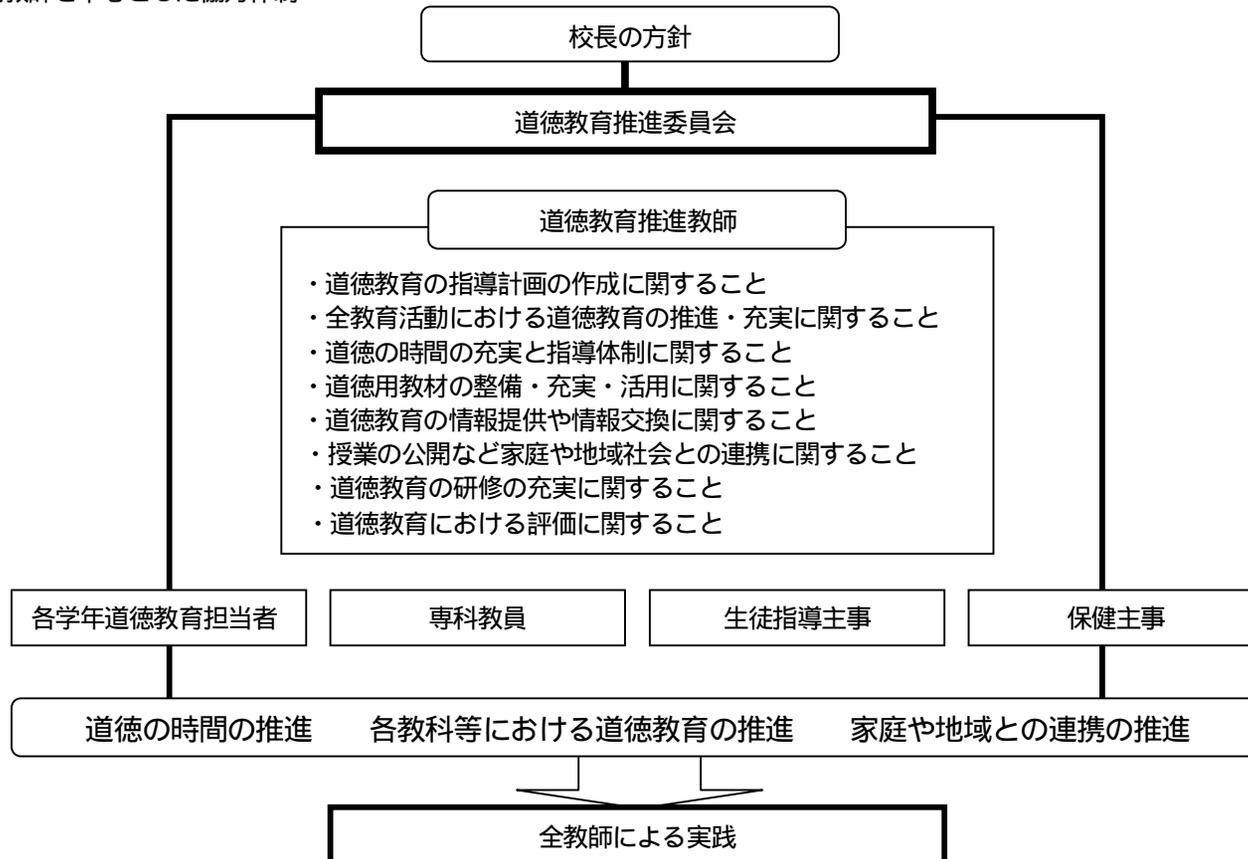


1 道徳教育の推進体制

(1) 校長の方針

道徳教育の充実・改善の方向を視野におきながら、児童の道徳性にかかわる実態、学校の道徳教育推進上の課題、社会的な要請や家庭や地域の期待などを踏まえ、学校の教育目標とのかかわりにおいて、道徳教育の基本的な方針を明示する必要がある。

(2) 道徳教育推進教師を中心とした協力体制



2 各教科，外国語活動，総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育の指導の内容及び時期

(1) 第1学年

(2) 第2学年

(3) 第3学年

(4) 第4学年

(5) 第5学年

(6) 第6学年

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道徳		・かけがえのない命3-(1) ・母の仕事4-(4) ・心のおみやげ4-(1)									
国語	「風切るつばさ」 2-(3)信頼・友情										
社会					「伊能忠敬と日本地図」 1-(2)希望， 勇氣，不撓不屈						
算数						「分数のかけ算とわり算(2)」 1-(5)真理愛					
理科		「ヒトや動物の体」 3-(1)生命尊重									

音楽									「日本の音楽を味わおう」 4 - (7) 郷土愛・愛国心		
図工							「芸術家の心 にふれて」 3 - (3) 敬虔				
家庭										「わたしの気持ちを伝えよう」 4 - (5) 家族愛	
体育								「サッカー」 4 - (1) 規範・公德心			
外国語							「道案内をしよう」 4 - (8) 国際理解				
総合			「大竹の自慢を見つけよう」 4 - (7) 郷土愛・愛国心								
特活	学級活動		「掃除の仕方を考えよう」 4 - (4) 勤労，社会への奉仕								
	児童会				「全校児童集会」 4 - (3) 役割・責任						
	クラブ	1 - (3) 自主・自律 2 - (1) 礼儀 2 - (3) 信頼・友情 4 - (3) 役割・責任									→
	学校行事		修学旅行 4 - (1) 規範・公德心			「秋季大運動会」 4 - (3) 役割・責任					

3 特色ある教育活動や豊かな体験活動における道徳教育の指導の内容及び時期

学年	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1学年											
第2学年											
第3学年											
第4学年											
第5年											
第6学年		修学旅行(特別活動) 4-(1)規範・公德心			紙太鼓づくりの体験活動(総合) 4-(1)規範・公德心						

4 家庭，地域との連携

(1) 連携を図る機関等

.....

(2) 広報活動

道徳教育の全体計画（学校だより，ホームページ）

.....

道徳の授業の紹介（学年便り，学級便り）

(3) 道徳の時間における保護者や地域の人々の参加や協力の内容及び時期

学年	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1学年											
第2学年											
第3学年											
第4学年											
第5年											
第6学年			4-(4) 勤労， 社会への奉仕 ・地域の の 方にGTとして 説話を依頼			道徳参観・道徳 懇談会					

5 評価計画

学年及び学校全体で、計画の実施状況や効果の程度などを学期ごとに評価を行う。

	1学期	2学期	3学期
道徳の時間の指導			
道徳教育の推進体制			
各教科等における道徳教育			
特色ある教育活動や豊かな体験活動における道徳教育			
家庭・地域との連携			
学級経営			

6 研修計画

月	ねらい	内 容	講 師 等
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
1			
2			
3			

7 道徳の時間における重点的指導

学年	重点目標	重点的指導に係る内容項目	指導の工夫（主題の配列，他の教育活動との関連，指導時間数，資料の選定，協力体制等）
第1学年			
第2学年			
第3学年			
第4学年			
第5学年			
第6学年			

道徳の時間の年間指導計画（例）

大竹市立 小学校

第6学年

基本方針：重点目標に係る内容の指導時間数をそれぞれ3時間行う。他の教育活動の内容を導入で扱ったり、発問について考えさせる材料としたりする。
場面・内容を考慮して教職員や保護者・地域の方に協力を得ることによって、より効果の高まるものとする。

月	主題名	ねらい	資料 (出典)	主題構成の理由	展開の概要及び指導の方法	関連する 教育活動等	その他	実施後の 反省	指導 時間
4									
5	かけがえない生命 3-(1)	限られた命を精一杯生きた秋雪君とその命を慈しむ母親の姿を通して、命を大切にしようとする心情を育てる。	たったひとつのたからもの(『かがやけみらい道徳5年』学校図書)	授かった生命を生かして、価値ある生き方を築いていくことの大切さに気付かせることができる。	導入：写真の題名「たったひとつのたからもの」とは、何だと思いませんか。 展開：秋雪君の病気のことを知り、お母さんはどんなことを思ったのだろう。秋雪君との6年間を振り返り、お母さんはどんなことを考えたのだろう。心のノート p.64 に記入する。 終末：保護者からの手紙を読む。	・事前の出産をテーマにした絵本の読み聞かせ ・理科「ヒトや動物の体」	・保護者に児童誕生時の思いを書いた手紙の依頼 ・心のノート pp.62-65	・資料が長いので、写真の活用及び場面把握のためのポイントとなる言葉の提示が必要である。	1
	心のおみやげ 4-(1)	外国人や筆者の心に残ったおみやげの意味を考え、みんなのことを考えて行動することの大切さに気づき、自分の生活の中に当てはめて実践しようとする意欲を育てる。	おみやげ(文部省資料)	柵を直すという出来事を通して、登場人物の公徳心に対する考え方の変容の理由を探り、ねらいに迫ることができる。	導入：「おみやげ」で思い浮かぶことは、どんなことですか。 展開：バスに乗り合わせた人の胸に残ったおみやげを心の変化から考えてカードに書こう。心の変化のわけと共通点を話し合おう。柵を直した後の気持ちを考えよう。これからの自分について、心ひそかに思うことをノートに書こう。 終末：校長の体験談を話す。	修学旅行	・校長の説話 ・心のノート pp.76-79	・4-(1)の視点で、修学旅行を終えての作文など表現物を残し、評価を行う必要がある。	1